



## テーマ2（グループ討論）

昨今、東芝、オムロン、住友化学、資生堂などが、業績不振及び不採算事業からの撤退等を要因として、構造改革の一環でリストラクチャリングによる人員整理を進めている旨のプレスリリースが公表されています。

一方で企業の持続可能な成長にあたっては人材育成、従業員の満足度など人的資本への投資も相当程度重要となっています。また、日本においては更なる少子高齢化社会・人口動態調査でも過去最低の出生率となっている現状において、ますます人材確保の重要性が高まっています。

このような背景をふまえて、業績不振からの回復として、リストラクチャリングによる人員整理をすることの企業におけるメリットとデメリットを考え、将来の企業成長を照らした場合、当該手法についての以下の立場に分かれて議論しなさい。

A 案：メリットが大きいため賛成

B 案：デメリットが大きいため反対

## テーマ3（グループ討論）

### 1 班

監査法人に属する会計士は独立性やインサイダー規制の観点から個別株式の売買が原則禁止されている。一方、金融リテラシー向上のため、自身が関与していない会社の株式売買を認めるべきとの声もある。

個別銘柄の株式は全面的に禁止すべきか、条件付きで売買を解禁すべきか。

A 案：全面的に禁止すべき

B 案：条件付きで売買を解禁すべき

### 2 班

海外投資家からの投資促進のため、一定程度海外進出を行っている日本企業に対して ifrs を強制適用すべきか。

A 案：賛成

B 案：反対

### 3 班

EU 加盟国では上場企業に IFRS 適用が義務付けられています。一方で、日本では IFRS 適用は義務付けられていません。

これを受けて、日本でも IFRS の適用を義務づけるべきか。

A 案：適用を義務とすべき。

B 案：適用を義務とすべきではない。

※ レポーターは、論点整理をしたレジюмеを A4 用紙 1 枚程度で作成して、6 月 27 日（木）までに事務局へ 1 部提出すること。（FAX でもメールでも構いません）

さらに、ディスカッション当日に班人数分+担任分（最大 19 部）を用意してくること。

（事務局のコピー機を使用する場合は、原稿を 1 枚持参のうえ、時間に余裕をもって来ること。）

**【レジюме提出先】**

九州実務補習所 事務局

F A X : 0 9 2 - 7 1 5 - 3 6 6 4

M a i l : [hokubuk-hosyu@sec.jicpa.or.jp](mailto:hokubuk-hosyu@sec.jicpa.or.jp)

※ レジюмеには、補習生番号、氏名、班、テーマ（2か3か）、派（A案派かB案派か）、を必ず記載すること。

**注 意**：レポーターでディスカッション当日に出席出来ない事がわかっている場合、必ず出席する補習生と交代するとともに、その旨を事務局に連絡すること。

尚、レポーターが無断欠席した場合、既に取得した実務学習単位から 3 単位を減ずる場合があるので注意すること。